

# 近畿学校保健学会通信

No. 71

平成4年2月1日発行  
近畿学校保健学会事務所  
〒640 和歌山市九番丁27  
和歌山県立医科大学衛生学教室内  
TEL 0734-26-8324(直通)  
振替口座 大阪4-107021番

## 第39回 近畿学校保健学会の開催にあたって

第39回近畿学校保健学会  
学長 林 正  
(滋賀大学 教育学部教授)

第39回近畿学校保健学会を滋賀県でお引き受けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。  
来る1992年6月6日(土)に滋賀大学教育学部を会場として開催する運びとなりました。

今から6年前に、特別講演にJ.M.Tanner名誉教授(ロンドン大学小児保健研究所発育発達学教室)と森昭三教授(筑波大学)を招いて開催しましたことが思い出され、時がたつのが早い事を実感しています。滋賀県の運営委員会を10月5日(土)に開催しましたが、委員の中から少しづつ進展しているとの評価を頂きました。会員の皆様がたの暖かいご支援とご協力のもとに、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、滋賀県医師会、滋賀県歯科医師会、滋賀県薬剤師会、滋賀県養護教諭研究部会、滋賀県学校保健学会等のご協力もえて有意義な学会にすべく、微力ながら努力したいと考えています。

生涯学習時代を迎えて健康教育の重視が呼ばれるようになりました。新学習指導要領にもその主旨がのべられています。これから学校保健、健康教育の一層の充実と発展が、子供たちの学校生活にゆとりと、豊かさを取りもどし、一人ひとりの子供が心身共に健健康な成長発達を、いかんなく發揮できる環境を実現することが望まれています。

本学会の内容としては、午前中の一般口演、午後からの会長講演と特別講演の2題を予定しています。会長講演では学校保健の理論と実践をふまえて、子供の個人差理解と健康教育(仮題)を、特別講演では、山岸司久教授(滋賀大学保健管理センター所長)による貧血についての健康管理(仮題)を予定しています。講演のあと質疑応答の時間を多少ともとて、討論を考えています。6月の初旬でもあり、あまり暑くならないことを祈っていますが、学校保健関係の諸先生がたをはじめ、関心をもたれる方々の多数のご参加をお待ちしています。

## 第39回 近畿学校保健学会(平成4年度年次学会)開催要項

1. 学会長 滋賀大学 教育学部 教授 林 正
2. 事務局 〒520 大津市平津2丁目5-1  
滋賀大学 教育学部 健康学研究室  
第39回近畿学校保健学会事務局  
(事務局長 滋賀大学 教育学部 助教授 石榑 清司)  
TEL0775-37-0081(代)内線327 FAX0775-33-2574
3. 開催期日 平成4年6月6日(土)
4. 会場 滋賀大学 教育学部
5. 日程 受付：9:00～16:30  
午前：3会場にて一般演題発表  
午後：総会、会長講演、特別講演
6. 会費 正会員 3,000円（学会本部へ納入）  
当日会員 2,000円（含資料代）  
当日学生会員 1,500円（含資料代）
7. 参加申込 近畿内外を問わず、当日飛び入りでも結構ですが、返信用封筒（宛名及び62円切手貼）を第39回事務局宛送付いただければ、5月下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」を発送致します。  
なお、一般演題発表希望者は共同研究発表者を含めて正会員になる必要があります。会員でない方は、「近畿学校保健学会事務所」に入会手続きをして下さい。  
※近畿学校保健学会事務所 〒640 和歌山市九番丁27  
和歌山県立医科大学衛生学教室 ☎(0734)26-8324
8. 一般演題  
申込 発表希望者は、別紙申込み用紙に必要事項を記入のうえ、平成4年3月20日（必着）までに第39回事務局宛申し込んで下さい。なお、講演予稿集の原稿締切は4月20日（必着）です。
9. 懇親会 学会終了後に会員の懇親会を予定しております。是非多数の会員の参加をお願いします。（会費 4,000円）

## 会長講演、特別講演の紹介

### ◎会長講演について

＜テーマ＞ 子供の個人差理解と健康教育  
滋賀大学 教育学部 教授 林 正

＜趣旨＞ 教員養成大学・学部における健康教育の力量（健康に対する意識、態度、技量の指導性）形成に必要な履修内容に関する要求度の検討を行った結果（学校保健研究Vol.30, No.10, 1988）、学校保健の中心的課題は対応が困難である①精神的な健康問題の指導、②子供の問題行動の早期発見と指導、③心身に障害のある子供の指導、④性教育の進め方、⑤応急処置の仕方等に集約された。以上は教師、保護者、教育実習終了後の学生集団で共通している。そして現代的環境における子供の健康問題への適切な対応への必要性を卒直に示唆している。これらの問題に関してささやかな実践を例示して、ご批判をいただければ幸いである。

一人の子供の健康問題の現実に学び、実践のなかでその子なりの自己実現への見通しが確認できたときの喜びは大きい。実践科学としての体系化は、これから学校保健や健康教育の理論的構築とあわせて大切な仕事になってくるように考えられる。

### ◎特別講演について

＜テーマ＞ 貧血についての健康管理  
滋賀大学 保健管理センター 所長 教授 山岸 司久

＜趣旨＞ 貧血という言葉は誰でも知っているが、顔が白いから貧血ではないかとか、貧血だったらレバーやほうれん草を食べたらよいなどの曖昧な知識しか持っていない人が多い。青少年の貧血の原因は鉄欠乏が最も多いので貧血という原因を確かめずに鉄剤で治療する医師もいる程である。しかし貧血にはそれ以外の原因によって起こるものも多数あり、それらの病態についての知識や食事療法を含めた治療法についての知識を持つことは保健指導に必要と考えられる。また貧血の一型である再生不良性貧血では最近骨髄移植が治療法として行なわれるようになっており、マスコミでしばしば報道されている。このような新しい治療法についての正しい知識を得ることも必要であろう。そこで長年血液の病気にたずさわって来られた山岸司久教授（滋賀大学教授）の特別講演を企画した。

#### ＜講師の横顔＞

山岸 司久 滋賀大学 教授（保健管理センター 所長）

昭和29年3月 京都大学医学部医学科卒業  
昭和29年7月～昭和31年12月 米国にて臨床および病理学研修  
昭和32年6月 京都大学医学部第一内科副手  
昭和38年1月～昭和40年3月 米国エール大学医学部研究員

昭和41年1月 京都大学医学部助手（第一内科）  
講師（輸血部）を経て  
昭和53年12月 滋賀大学教授（保健管理センター）兼、京都大学医学部講師（非常勤、  
第一内科）現在に至る

医学博士 昭和35年5月、京都大学

専攻 内科学、血液学

著書 血液診断（共著、金芳堂 1984）  
骨髓生検標本の見方・考え方（金芳堂 1986）  
臨床 Visual Mook 白血病（共著、金原出版 1986）  
内科 Mook 33 貧血（共著、金原出版 1987）  
臨床検査 Mook 27 白血病の臨床検査（共著、金原出版 1988）  
老年内科診療の実際（共著、新興医学出版 1988）  
症例に学ぶ内科学（共著、金芳堂 1989）

学会活動等 日本血液学会評議員、日本臨床血液学会評議員、日本輸血学会評議員、  
第54回近畿血液学地方会（1990）会長

## 平成3年度第2回幹事会記録

日時 平成3年12月7日(土) 午後2時30分より  
場所 なにわ会館会議室（2階カルチャールーム）  
出席者 16名  
委任状提出者 9名

### 議事

1. 第39回近畿学校保健学会（滋賀）の企画について  
林 正 年次学会長から開催要項（案）および予算（案）について説明があり、原案どおり承認された。  
なお、河瀬幹事から年次学会運営資金について、また、美崎幹事から年次学会における特別講演の記録の作成について提案があったが、意見交換にとどまり、具体的な結論は得られなかった。
2. 役員の選挙日程ならびに選挙管理委員の選出について  
役員選出方法検討小委員会の委員に選挙管理委員をお願いすることになった。選挙日程等は選挙管理委員会の決定によるが、大略のスケジュールとしては、被選挙権者である新評議員の選出は、従前の例にならい、各地区ごとに平成4年4月10日までに行い、4月11日に大阪で幹事会を開催して決定する。したがって幹事の選挙はその直後に郵送法により行われ、新幹事による幹事長の互選を経て、6月6日開催の総会にその結果を報告することになる。選挙管理委員の任期はこの日までである。なお、各地区における新評議員名簿の取りまとめは、各地区的選挙管理委員を中心に行うこととなった。

#### 平成4年度役員選挙のための選挙管理委員

林 正（滋賀大） 美崎 敦正（神戸大）  
寺田 光世（京都教育大） 山本 公弘（奈良女子大）  
上延富久治（大阪教育大） 松岡 勇二（和歌山大） 以上6名

## 第39回 近畿学校保健学会演題申込み用紙

(1題1葉に記入のこと。※印欄は記入しないこと。下記注意書き必読のこと。)

演題名		
発表者氏名、所属(連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には*印)		
連絡先	TEL ( )	
住 所		
氏 名		
発表要旨(100字ぐらいに) [キーワード]		
※受付番号:	演題番号:	
原稿用紙発送:	月	日
発表時刻:		午前 時 分
:	会場: A . B . C	

申込み用紙不足の場合は、これと同じ様式のものを用いて下さい。

### 記

1. 口演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
2. 発表者は原則として会費を前納して下さい。
3. 演題名、発表者氏名は演題申込み用紙に記入のものをプログラム、講演集にも使用します。後刻の訂正には応じられませんので十分に検討の上、変更のないようお願いします。
4. 演題申込みはこの用紙(または同様式)に必要事項を記入し、1992年3月20日(金)までに第39回学会事務局あてお送り下さい。折返し予稿集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。

申込み先:〒520 大津市平津2丁目5-1  
滋賀大学 教育学部 健康学研究室  
第39回近畿学校保健学会事務局